

平成 27 年度阿南高専出前講座の報告



(株)エフ設計コンサルタント
花岡 史恵 (HANAOKA FUMIE)
(建設部門)

1. はじめに

平成 22 年度より、徳島県技術士会事業として始まった阿南高専出前講座は、今年度で 6 年目を迎える。回数にして 13 回の開催となる。

3 年前から、アイスブレイクやワークショップといった参加型まちづくりに使われる手法を用いながら、学生の自主性を引き出しながら講座を開催している。また、当初は 3 年生、4 年生を対象としていた講座も、昨年度からは、新たに 2 年生に向けても開催している。

本報告では、今までの活動を振り返り、今後の課題を踏まえて、平成 27 年度の報告を行う。

2. 概要と実施状況

平成 27 年度の出前講座は、7 月 21 日 (火)、23 日 (木)、27 日 (月) の計 3 回開催した。以下に、その概要と実施状況写真および支援技術士スタッフ一覧表を示す。

表 1 出前講座の概要

	7 月 21 日 (火)	7 月 23 日 (木)	7 月 27 日 (月)
テーマ	建設技術と職場の疑問を晴らそう	建設技術に触れてみよう	建設技術を知ろう
対象学年	建設システム 4 年生 (4C)	建設システム 3 年生 (3C)	建設システム 2 年生 (2C)
受講者数 (女子)	34 名 (6 名)	37 名 (11 名)	22 名 (6 名)
支援スタッフ数	21 名	15 名	6 名
実施時間	講座 : 120 分 反省会 : 60 分	講座 : 150 分 反省会 : 60 分	講座 : 90 分 反省会 : 60 分
講座形式等	<ul style="list-style-type: none">基本的に学生からの質問に答える形で討議を行った。学生を質問内容に応じたグループに分け、その中で技術士 1~2 名に対して、学生 2~3 名を配置して討議を行った。	<ul style="list-style-type: none">アイスブレイクを体験することで緊張感をほぐし、数名のグループに分けて、学生主導による話し合いを行った。題材を「公園設計」としてワークショップ方式により学生主導で取りまとめた。	<ul style="list-style-type: none">行政、コンサル、ゼネコンの立場から、仕事内容を紹介した。仕事紹介は全体セミナー形式とし、終了後に学生からの質問を収集して、後日回答する形とした。



写真 1 4C: グループ討議の状況



写真 2 3C: アイスブレイクの状況

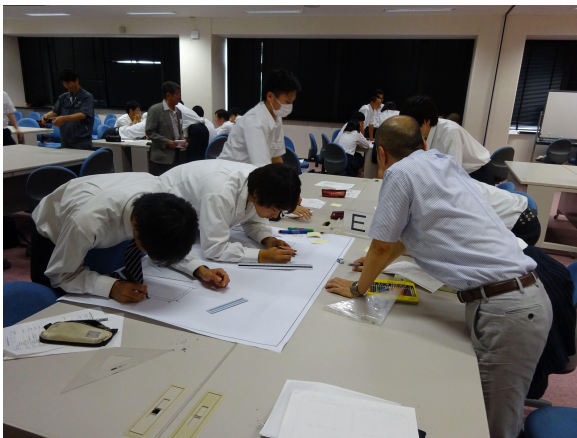


写真 3 3C: ワークショップの状況



写真 4 2C: 全体セミナーの状況

表 2 支援スタッフ一覧表 (順不同)

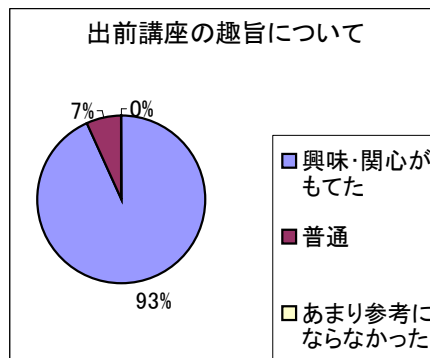
NO	支援スタッフ				技術部門	参加状況		
	氏名	性	職種	立場		7/21	7/23	7/27
1	古野 隆久	男	コンサル	会長	建設	○	○	×
2	天野 大	男	行政	副会長	建設、上下水、環境、総監	○	○	○
3	富士 達雄	男	コンサル	副会長	建設、総監	○	○	○
4	金澤 隆	男	コンサル	事務局長	建設、総監	○	○	×
5	藤本 一郎	男	コンサル	理事	建設	○	×	×
6	花岡 史恵	女	コンサル	理事	建設	○	○	○
7	納田 正徳	男	コンサル	理事	建設	○	×	×
8	福田 茂	男	コンサル	会員	建設、総監	○	×	×
9	天羽 誠二	男	コンサル	理事	建設、総監	○	×	×
10	萩森 健之	男	ゼネコン	会員	建設、総監	○	×	○
11	奈加 博之	男	コンサル	会員	建設	○	×	×
12	山本 秀樹	男	行政	会員	建設	○	○	×
13	坂東 義隆	男	行政	会員	建設	○	○	○
14	松本 晃治	男	コンサル	理事	建設、総監	○	○	×
15	大寺 礼子	女	コンサル	会員	建設	○	×	×
16	蛇目 卓央	男	コンサル	会員	建設	○	×	×
17	天野 泰宏	男	行政	会員	建設	○	×	×
18	辰野 恵	男	コンサル	会員	建設、森林、総監	○	×	×
19	石原 節也	男	コンサル	会員	建設、総監	○	○	×
20	菊池 昭宏	男	コンサル	理事	建設	○	×	○
21	石山 敬造	男	行政	理事	環境	×	○	×
22	豊崎 裕司	男	コンサル	理事	建設、総監	×	○	×
23	山口 博昭	男	コンサル		建設	×	○	×
24	仲間 真紀	女	コンサル	理事	応用理学、総監	×	○	×
25	工藤 宏樹	男	コンサル	会員	建設	×	○	×
26	神田 睦	男	コンサル	名誉会員	建設	○	○	×
					計	21	15	6

3. 評価

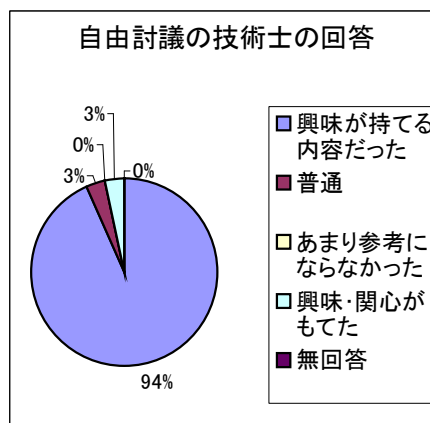
出前講座の評価指標として、毎回行っている講座終了後の学生アンケート調査があげられる。学生アンケート調査では、概ね好評価が得られており、出前講座継続の励みとなっている。以下に、学生アンケート調査結果を抜粋して報告する。

1) 学生アンケート調査結果抜粋 (4C)

出前講座の趣旨については、興味・関心を持たたと回答した学生が 93%、あまり参考にならなかったと回答した学生は 0%で、ほぼ学生全員に、出前講座の趣旨への賛同が得られたことが伺える。



職種に分かれて行ったグループ討議における技術士の助言については、参考になったと回答した学生が 88%、興味・関心を持たたと回答した学生が 6%、計 94%が、技術士からの助言を好意的に受け止めていることが伺える。



個別の自由討議における技術士の回答については、興味を持てる内容だったと回答した学生は 94%、あまり参考にならなかったと回答した学生は 0%で、ほぼ学生全員が、技術士の回答に興味を持ったことが伺える。

また、それぞれの質問に記述回答を促したが、それについても好感触が得られる結果が示されている。以下に、記述回答を示す。

表 3 4C の記述回答

質問	記述回答
出前講座の趣旨について	<ul style="list-style-type: none"> お金の話や就職の話をしてくれた まだ未熟な仕事の知識について詳しく知ることができた 普段、多くの人の前では質問が出来ないので、今回は良かった 生の声が聞けてほんとに良かった。やはり先生以外の人から学ぶ事はたくさんあると思った 1対1より、2対1での討議はいろんなことが聞きやすかった もっと環境系の話が聞きたい
グループ討議における技術士の助言	<ul style="list-style-type: none"> 資格について教えてもらった ゼネコンといっても大きくしか仕事内容がわからなかったが、どんな仕事をしているかを知ることが出来て参考になった いろいろ聞くことができた 全体討議より詳しく聞いた 必要な資格について知ることができ参考になった 希望職種の内容がよくわかった ゼネコンについて概要を知ることができてよかった ゼネコンについての質問もわかりやすく教えてくれたので建設系の仕事につきたいと思った

個別自由討議における技術士の回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資格は今取らなくても後で取れるので、今は授業で専門的なことをしっかり勉強したら後につながってくるので今の勉強も大切だと思った ・ コンサルについてわかった。今まで持っていたイメージが変わった ・ いろんな事を聞きやすかった ・ 的確な回答をもらえた ・ 個人的な質問にも答えてもらい参考になった ・ 技術士の方の話が面白かった ・ 遊びから見つける、気づく、視点を変える ・ 貴重な話が聞けてとても分かりやすかった
------------------	--

2) 学生アンケート調査結果抜粋 (3C)

出前講座の趣旨については、興味・関心が持てたと回答した学生が 94%、あまり参考にならなかったと回答した学生は 0%で、ほぼ学生全員に、出前講座の趣旨への賛同が得られたことが伺える。

3Cで行っているアイスブレイク導入については、参考になったと回答した学生が 55%、興味・関心が持てたと回答した学生が 11%、計 66%と、好意的な回答であるが、あまり参考にならなかったと回答した学生が 6%あり、今後の課題として受け止めたい。

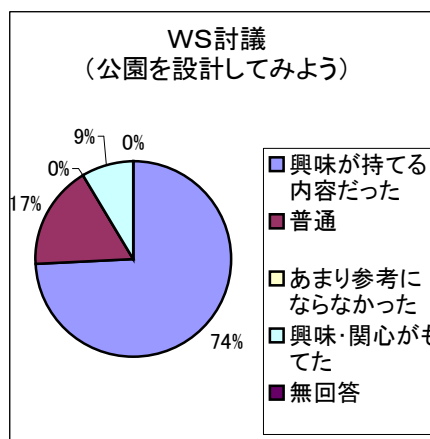
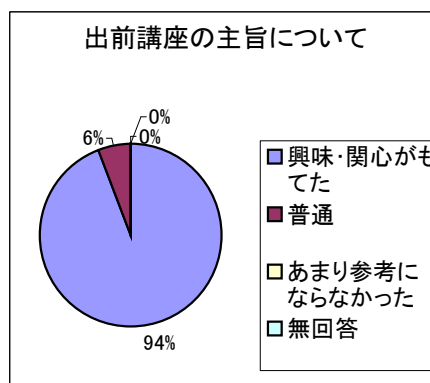
3Cでは、昨年より学校側の要請を受けて、実際の図面づくりを講座に盛り込んでいる。今回も身近にイメージできる公園を題材にしてワークショップ方式による図面づくりを行った。その公園づくりワークショップに対して、

興味を持てる内容だった、興味関心が持てたと回答した学生はあわせて 83%、あまり参考にならなかったと回答した学生は 0%で、概ね、公園づくりワークショップに興味を持ったことが伺える。

また、最後の設問において、講座に対する意見の記述回答を促したが、それについても好感触が得られる結果が示されている。以下に、記述回答を示す。

表 4 3Cの記述回答

記述回答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年も楽しみにしてきます ・ 年に1回ですが、回数増えて欲しいです ・ せっかく技術者さんに来ていただいているので、もっと専門的な内容でもよかった ・ 自分の好きな内容だったので、楽しかった ・ ありがとうございました ・ 満足のいく内容だった



- ・ 皆さん優しくて分かりやすい説明をしてくださいました
- ・ こんな機会を大切にしていきたいです
- ・ 特になし
- ・ とても参考になり役立った
- ・ このまま続けて欲しい
- ・ このまま続けて欲しい
- ・ 楽しかったです
- ・ 公園の設計を今までしたことがなかったので、楽しかった
- ・ 楽しかった。ひたすら3時間講義をきくより良かった
- ・ 今回経験したことを今後、生かせるようにしていきたいと思います
- ・ 来年もよろしく願います
- ・ 来年も頼みます

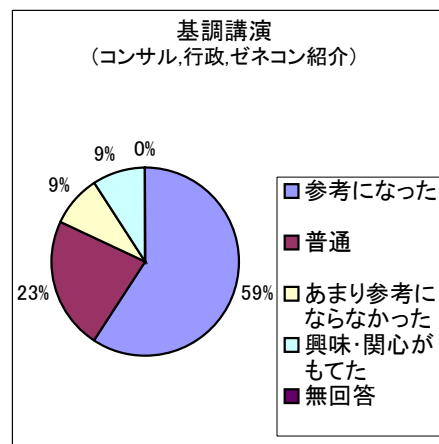
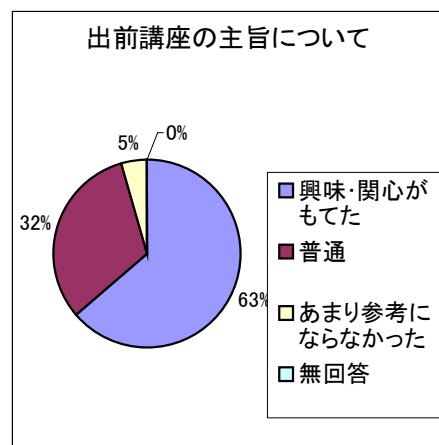
3) 学生アンケート調査結果抜粋 (2C)

2Cについては、昨年より講演形式で行っている。出前講座の趣旨については、興味・関心が持てたと回答した学生が63%と概ね好意的な回答ではあるが、あまり参考にならなかったと回答した学生が5%、普通と回答した学生が32%と、3Cおよび4Cの学生と比較して関心度が低いことが伺える。

講義内容については、参考になったと回答した学生が59%、興味・関心が持てたと回答した学生が9%、計68%と、好意的な回答であるが、あまり参考にならなかったと回答した学生が9%あり、今後の課題として受け止めたい。

また、それぞれの質問に記述回答を促したが、それについても3Cおよび4Cと比較すると、一概に好感触を得られたとは考えにくい。以下に、記述回答を示す。

表 5 2Cの記述回答



質問	記述回答
出前講座の趣旨について	<ul style="list-style-type: none"> ・ まだ仕事のことについて考えていないので、それほど関心が持てなかった ・ 参考にならなかったと言うよりは、興味・関心が持てなかったというのが近いです ・ 難しくてまだ分からない事ばかりなので、これから少しずつ分かっていけたらいいと思った ・ 公務員のことに興味があったが、他の事にも興味を持てた ・ 難しかった。でも、おもしろいところが多かった ・ とてもおもしろく思った
講義内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ よく分からなかった ・ あまり分からなかった

	<ul style="list-style-type: none"> ・ もう少しコンサルについて聞きたかった ・ 公務員の県外のことを聞きたかった ・ 講演の内容が悪いのではなく、自分の進路に関係が無い ・ 女性でも現場で働けることが分かった ・ とても分かりやすかった ・ 文だけでなく、図や写真等を用いて具体的に紹介してくれたので、理解しやすかった ・ 現場が実際に見えて良かった ・ 具体的な図もあって分かりやすかったと思います ・ 最後のゼネコンの紹介は聞いていて楽しかったし、参考になりました
--	---

4. 反省会

反省会は、各講座終了後に、担当教官と支援技術士により約1時間程度開催している。KJ法による記述を紹介しながら意見交換を行い、結果は毎回、担当教官と支援技術士にフィードバックしている。また、全ての講座終了後には担当教官と支援技術士により懇親会も開催している。ここでは、記述意見の模式図の一例と反省会時の写真の一例を示す。



写真 5 記述意見の模式図の一例



写真 6 反省会時の写真の一例

5. おわりに

阿南高专出前講座は、今年で早6年目を迎えた。評価の項で示したように、学生アンケート調査において、学生から好評価を得ていることは、継続の大きな励みとなっている。しかしながら、2Cにおいてはまだ専門を選択したばかりの段階であることも一つの起因と考えられるが、3Cおよび4Cと比較して関心が低いことが伺えた。また、担当教官の異動等により、年々、教官の参加が減っており、学生と教官に温度差があることは否めない。今後の継続にあたっては、教官の理解と推進が必須となる。今後の出前講座が、学生の将来を考える上で有効か否かについて、今一度、学校と技術士会とで検討する時期がきていることを痛切に感じている。